

メルボルンの食文化・観光戦略から学ぶ

大阪市とオーストラリア・メルボルン市は、1978年に姉妹都市提携を締結し、経済、教育、文化等、幅広い分野で交流を進めてまいりました。2018年は、姉妹都市提携を締結してから40周年の記念すべき年になります。

メルボルンは、オーストラリア南部に位置し、世界で最も住みやすい街として名高く、美食都市としても有名です。そこで、メルボルンの食文化・観光戦略の知見を共有し、大阪市の都市創造のビジョン及び実績を考える場として、本シンポジウムを開催いたします。

【日 時】平成30年3月23日(金) 14時00分～17時00分
(受付13時30分～)

【会 場】大阪国際交流センター 小ホール
大阪市天王寺区上本町8-2-6 <http://www.ih-osaka.or.jp/access/>

【定 員】150名(参加費無料・先着順)

【内 容】14:00～14:05 開式あいさつ
14:05～14:15 メルボルン市代表あいさつ
14:15～14:20 大阪市代表あいさつ
14:20～14:50 基調講演：大阪府立大学研究推進機構 観光産業戦略研究所所長 橋爪紳也
14:50～15:20 講演①「メルボルンの食文化と観光戦略」
メルボルン市議会議員 フィリップ・リー・ルー
15:20～15:35 休憩
15:35～15:50 講演②「貿易と投資から見た日豪の食の交流」
在大阪オーストラリア総領事館 総領事 デビッド・ローソン
15:50～16:05 講演③「メルボルンの食の風景」 写真家 ステフ・ドラ



16:05～16:50 パネルディスカッション
「メルボルンの食文化・観光戦略から学ぶ」

【パネリスト】

上記講演者の橋爪紳也、フィリップ・リー・ルー、デビッド・ローソン、ステフ・ドランの4氏が登壇します。

【モデレーター】日本フードツーリズム学会会長 尾家建生

※内容は変更になることがあります。

【言 語】日本語・英語(日英逐次通訳)

【主 催】大阪府立大学研究推進機構観光産業戦略研究所、日本フードツーリズム学会

【共 催】大阪市、メルボルン市、(公財)大阪国際交流センター

【後 援】在大阪オーストラリア総領事館、オーストラリア・ビクトリア州政府東京事務所

【協 力】大阪国際交流センター(運営事業者：(株)コンベンション リンケージ)

【申 込】お申込みはE-mailにて、jimu@foodtourism.jp (日本フードツーリズム学会事務局)へ
3月22日(木)17時までにお願ひします。(件名「シンポジウム参加申込」、必要事項
「所属・住所・連絡先・お名前」)なお、受付確認の返信は致しませんのでご了承ください。

【問い合わせ】日本フードツーリズム学会(大阪観光大学内) TEL.072-453-8222